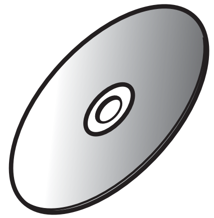
ＣＤ－ＲＷドライブ
ユーザーズマニュアル(PDFファイル)



ATAPIで接続する方へ 内蔵ドライブ



メモ

困ったときは、「トラブルシューティング」をお読みください(こちらをクリックすると表示されます)。

最新の情報は、弊社ホームページ(http://www.melcoinc.co.jp/)を参照ください。ホームページには最新のQ&Aや仕様が案内されています。

次のページへ→

セットアップ

セットアップ

メモ

困ったときは、「トラブルシューティング」をお読みください(こちらをクリックすると表示されます)。

最新の情報は、弊社ホームページ(http://www.melcoinc.co.jp/)を参照ください。ホームページには最新のＱ＆Ａや仕様が案内されています。



←前のページへ 次のページへ→

セットアップ

☆セットアップのながれ



パソコン→周辺機器の順に電源スイッチをOFFにする

▼

本製品をパソコンに取り付ける

▼

周辺機器→パソコンの順に電源スイッチをONにする
プラグアンドプレイにより、自動的に本製品が認識されます。

▼

付属のユーティリティCDでライティングソフトウェアをインストールする
別紙「はじめにお読みください」参照。

注意・メモ

注意

- 別紙「はじめにお読みください」と併せてお読みください。
- 本製品を取り付ける前に、ハードディスクなどの大切なデータは他のメディアにバックアップ(保存)してください。
- パソコンおよび周辺機器の取り扱い上の注意や設定は、各マニュアルを参照してください。
- パソコンへの取り付け/取り外しは、パソコン本体のマニュアルを参照してください。

メモ

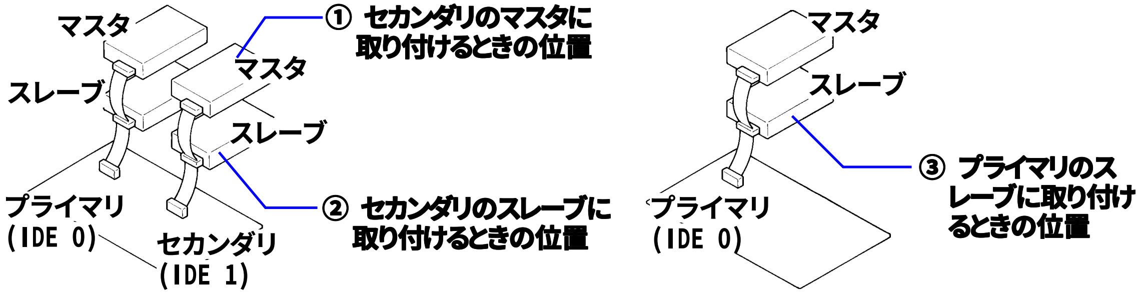
本製品を取り付けるには以下のものが必要です。作業を行う前にご用意ください。
・本製品および付属品
・パソコンおよび周辺機器のマニュアル
・ドライバなどの工具

←前のページへ　次のページへ→

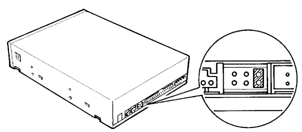
☆取り付けの前に

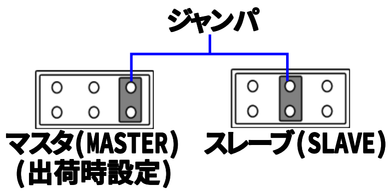
●取り付ける位置

通常、プライマリのマスタにはハードディスクが接続されています。
そのため、本製品は下図①～③のいずれかの位置に取り付けます。



●ジャンパスイッチの設定





使用環境		プライマリ(IDE 0)		セカンダリ(IDE 1)		本製品のジャンパスイッチ設定
他のIDE機器	本製品	マスタ	スレーブ	マスタ	スレーブ	
1台	1台		本製品	−	−	スレーブ(SLAVE)
			−	本製品	−	マスタ(MASTER)
2台	1台		本製品		−	スレーブ(SLAVE)
				本製品	−	マスタ(MASTER)
			−		本製品	スレーブ(SLAVE)
3台	1台				本製品	スレーブ(SLAVE)

（灰色）：他のIDE機器が接続されている
− ：IDE機器が接続されていない

注意・メモ

注意

セカンダリに本製品1台だけを接続するときは、必ずマスタに設定してください(出荷時はマスタに設定されています)。

メモ

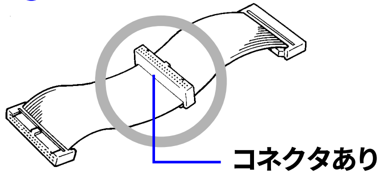
- 通常、プライマリのマスタにはハードディスクを接続します。本製品1台だけを接続して使用することはできません。
- 本製品はハードディスクが接続されていないフラットケーブルに接続することをおすすめします。本製品とハードディスクを同じフラットケーブルに接続すると、パソコンの動作が不安定になることがあります。

←前のページへ
次のページへ→

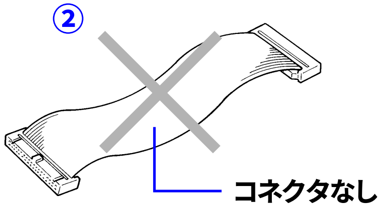
●ケーブルについて

本製品をスレーブとして接続する場合は、下図の①のような形状のフラットケーブルが必要です。
パソコン本体付属のフラットケーブルが②のような形状の場合や、パソコン本体にフラットケーブルが付属していない場合は、弊社製IDE接続ケーブルを使用してください。

①



②



●CyberTrio-NXを搭載したPC98-NXシリーズを使用しているとき

CyberTrio-NXがインストールされているPC98-NXシリーズでは、CyberTrio-NXをアドバンストモード以外のモードで使用していると、Windowsの設定が変更できないことがあります。パソコン本体のマニュアルを参照して必ずアドバンストモードに変更してください。

注意・メモ

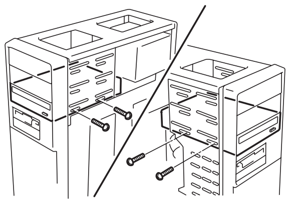
←前のページへ 次のページへ→

☆取り付け方法

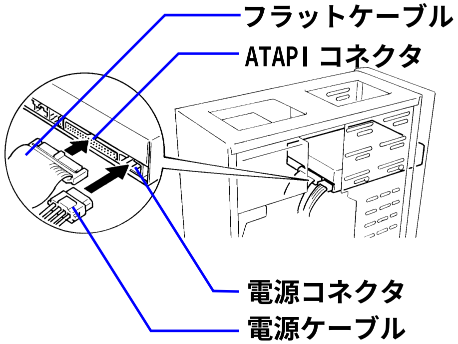
1 パソコン→周辺機器の順で電源スイッチをすべてOFFにし、ケーブル類を取り外します。さらに、パソコンのカバー(ネジ止め)を外します。

2 本製品の取り付け条件に合わせて、ジャンパスイッチを設定します。

3 本製品をファイルベイに挿入し、付属の取り付けネジ(4本)で固定します。



4 フラットケーブルと電源ケーブルを接続します。



5 パソコンのトップカバー(ネジ止め)を取り付け、パソコンおよび周辺機器を元どおり接続します。

注意・メモ

メモ

パソコンにIDE機器接続用のフラットケーブルが付属していないときは、別売の弊社製IDE接続ケーブルをお使いください。

注意

ジャンパスイッチの設定と、フラットケーブルの接続が正しいか確認してください。
【「セットアップ-②」参照】

注意

ケーブルのはさみ込みやコネクタの抜けなどがないように注意してください。

←前のページへ 次のページへ→

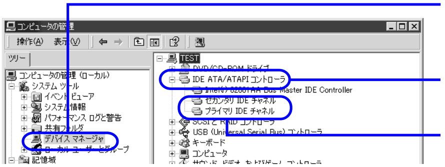
☆WindowsXP/2000 の設定

本製品をパソコンに取り付けてパソコンを起動した後に、DMA転送を行うように設定します。DMA転送は下記に記載の手順で設定できます。

1 [マイ コンピュータ]アイコンにマウスのカーソルを合わせ、マウスの右ボタンをクリックします(WindowsXPでは[マイコンピュータ]はスタートメニューの中にあります)。

2 メニューが表示されたら[管理(G)]をクリックします。

3

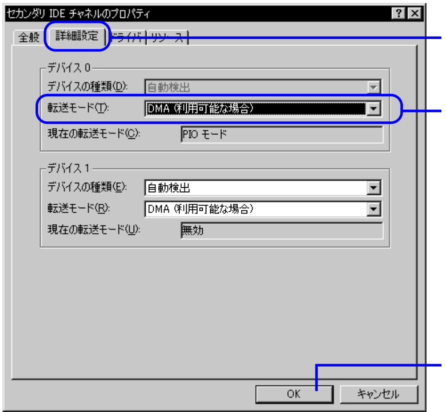


① [デバイスマネージャ]をクリックします。

② [IDE ATA/ATAPI コントローラ]をダブルクリックします。

③ 本製品を接続しているチャネル(セカンダリまたはプライマリ)をダブルクリックします。

4



① [詳細設定]タブをクリックします。

② [転送モード(T)]の▼をクリックし、[DMA(利用可能な場合)]を選択します。初期設定では[PIOモード]に設定されています。

③ [OK]をクリックします。

5 メッセージに従ってシステムを再起動します。

注意・メモ

メモ

画面はWindows2000の例です。

注意

- 本製品をマスタとして接続しているときは、[デバイス0]の設定を変更してください。スレーブとして接続しているときは、[デバイス1]の設定を変更してください。
- パソコンの機種によっては、DMA転送に非対応で、CDのデータが正しく読み出せないことがあります。その場合は、上記の [転送モード(T)] を [PIOモード] に設定してください。

←前のページへ 次のページへ→

☆ WindowsMe/98SE/98 の設定

本製品をパソコンに取り付けてパソコンを起動した後に、DMA転送を行うように設定します。DMA転送は下記に記載の手順で設定できます。

1 [マイコンピュータ]アイコンにマウスカーソルを合わせ、マウスの右ボタンをクリックします。

2 表示されたメニューから[プロパティ(R)]をクリックします。

3 [システムのプロパティ]ダイアログボックスが表示されたら、[デバイスマネージャ]タブをクリックします。

4 [CD-ROM]をダブルクリックします。

5 本製品(CD-RWドライブ)のデバイス名をダブルクリックします。

6 [設定]タブをクリックします。

7 [□ DMA]をクリックしてチェックマークを付け、[OK]をクリックします。

8 [システムのプロパティ]の[OK]をクリックし、メッセージに従ってシステムを再起動します。



チェックマークをつけます。

注意・メモ

メモ

PC98-NXシリーズをお使いのときは、次の操作をする前にCyberTrio-NXをアドバンストモードに変更してください。

注意

- パソコンの機種によってはDMA転送に対応していないものもあります。パソコンのマニュアルを参照してください。
- DMA転送に対応していない機種では、DMA転送に設定を変更すると、CDの読み込みが正常にできない、Windowsが正常に起動しないなどの現象が起こることがあります。お使いの環境がDMA転送に対応しているかどうかはパソコンメーカーにご確認ください。このようなときはDMAのチェックボックスのチェックマークを外してください。
- お使いのパソコンによっては、[□ DMA]のチェックボックスがない、またはグレー表示になっていて設定できないことがあります。

←前のページへ 次のページへ→

WindowsNT4.0 の設定

製品によってはWindowsNT4.0に対応していないものもあります。そのような場合は、本ページを読む必要はありません。

パソコンの使用環境に応じて次のように設定してください。

●本製品を使用してWindowsNT4.0をセットアップする場合

本製品をパソコンに接続し、WindowsNT4.0をインストールします。セットアップの途中でCD-ROMドライバがインストールされます。

●WindowsNT4.0セットアップ済みのパソコンで本製品を使用する場合

ATAPI対応CD-ROMドライブから本製品に交換するときは、ATAPI CD-ROMドライバの設定を変更する必要はありません。それ以外の場合は、次の設定を行ってください。

① [スタート] – [設定(S)] – [コントロールパネル(C)]と選択し、[SCSIアダプタ] アイコンをダブルクリックします。
② [ドライバ] タブをクリックし、[追加(A)]をクリックします。
③[IDE CD-ROM(ATAPI)]を選択し、[OK]をクリックします。
④パソコンを再起動すれば、本製品が使用可能になります。

注意・メモ

注意

WindowsNT4.0では、PIOモードで転送しているため20倍速を超える速度の書き込み/読み出しはできません。お使いのパソコンによっては、DMAモードで転送するためのIDEドライバをパソコンメーカが用意していることがあります。詳しくはお使いのパソコンメーカにご確認ください。

←前のページへ 次のページへ→

取り扱いかた

メモ

困ったときは、「トラブルシューティング」をお読みください(こちらをクリックすると表示されます)。

最新の情報は、弊社ホームページ(http://www.melcoinc.co.jp/)を参照ください。ホームページには最新のQ&Aや仕様が案内されています。



←前のページへ 次のページへ→

取り扱いかた



☆CDのセット／取り出し

●CDをセットする

イジェクトボタンを押してトレーを出し、CDをセットします。
もう一度イジェクトボタンを押してトレーを戻します(ライティングソフトウェアの操作でもトレーを出せます)。

●CDを取り出す

イジェクトボタンを押してトレーを出し、CDを取り出します。
もう一度イジェクトボタンを押してトレーを戻します

注意・メモ

メモ

本製品を縦置き(垂直)にして取りつけた場合は、トレーのツメにCDをかけてセットしてください。

注意

アクセス中は、絶対にイジェクトボタンを押さないでください。システムが停止するおそれがあります。

メモ

- ライティングソフトウェアが起動しているときは、イジェクトボタンを押してもトレーは排出されません。その場合は、ライティングソフトウェアでイジェクト操作してください。
- PacketManが付属する製品の場合、PacketManがインストールされた状態で、パケットライト方式のメディアをセットすると、イジェクトボタンを押してもトレーは排出されません。デスクトップ画面［マイコンピュータ］内のCDのアイコンを右クリックし、メニューから［取り出し］を選択してください。

←前のページへ 次のページへ→

メディアの取り扱いに関する注意

CD-R/RWメディアは繊細なメディアです。わずかな傷や汚れの付着によっても正常に書き込めなくなるおそれがあります。取り扱いには十分注意し、次の事項を必ず守ってください。

●直射日光に長時間さらさないでください。

●メディアに傷を付けないでください。

●記録面に手を触れないでください。

●記録面にゴミやほこりなどが付着しているときは、市販のダストクリーナーで除去してください。

●シールやラベルなどを貼らないでください。

●メディア同士を重ねないでください。

●レーベル面にタイトルなどを書き込むときは、ボールペンなど先の硬い筆記具は使用しないでください。

注意・メモ

←前のページへ 次のページへ→

ＣＤ書き込み

セットアップ
取り扱いかた
ＣＤ書き込み

- ☆ 書き込み
- ☆ ライティングソフトウェアの特徴
- ☆ 書き込み方式
- ☆ CD-RWの制限事項

メモ

困ったときは、「トラブルシューティング」をお読みください(こちらをクリックすると表示されます)。

最新の情報は、弊社ホームページ(http://www.melcoinc.co.jp/)を参照ください。ホームページには最新のQ&Aや仕様が案内されています。



ＣＤ書き込み

書き込み



メディアにデータを書き込むときは、付属のライティングソフトウェアを使用します。

ライティングソフトウェアのインストール方法は別紙「はじめにお読みください」を参照してください。

著作権者の許諾なしにCD-ROMや音楽CDを複製することは法律により禁じられています。本製品を使用して複製するときは、オリジナルCDの使用許諾条件に関する注意事項に従ってください。

注意・メモ

メモ

一度書き込んだCD-R/RWメディアには、他のライティングソフトウェアでは追記できません。

←前のページへ 次のページへ→

☆ライティングソフトウェアの特徴

製品によって付属するライティングソフトウェアは異なります。
別紙「はじめにお読みください」を参照ください。

●WinCDR(Windows用)
音楽CDやビデオCDの作成、CDやドライブのバックアップに最適なライティングソフトウェアです。
- ディスクアットワンスでの書き込みが可能なので、プレス用のマスターCDが作成できます。
- WinCDRで作成したメディアは、Macintoshでも読み出せます(ただし、アプリケーションなど、ソフトウェア上互換性のないものを除きます)。

●WinCDR Lite(Windows用)
オリジナルの音楽CDやデータCDの作成、CDのバックアップが簡単にできるライWinCDRの簡易版です(詳細設定はできません)。
- 音楽CDの作成・CDのバックアップはディスクアットワンス方式、データCDの作成はトラックアットワンス方式で書き込まれます。
- WinCDR Liteで作成したメディアは、Macintoshでも読み出せます(ただし、アプリケーションなど、ソフトウェア上互換性のないものを除きます)。

注意・メモ

メモ
- ディスクアットワンス、セッションアットワンス、トラックアットワンス方式の書き込みに対応しています。
- ボリュームラベルとして使用できる文字は、0～9およびA～Z(大文字)です。

メモ
- ディスクアットワンス、トラックアットワンス方式の書き込みに対応しています(自動的に設定されます。個別設定はできません)。
- ボリュームラベルとして使用できる文字は、0～9およびA～Z(大文字)です。

←前のページへ 次のページへ→

製品によって付属するライティングソフトウェアは異なります。
別紙「はじめにお読みください」を参照ください。

●PacketMan(Windows用)

CD-R/RWメディアに対して、フロッピー感覚でデータの読み出し／書き込みをするライティングソフトウェアです。

- 小さなファイルを記録する場合も、ディスク容量が無駄になりません。
- ハードディスクなどにデータをコピーする感覚（マウスでのドラッグ&ドロップ操作）でデータを書き込めます。
- ファイルのアイコンをごみ箱へドラッグ&ドロップすれば、ファイルを削除できます。

●MacCDR(MacOS用)

- ディスクアットワンスでの書き込みが可能なので、プレス用のマスターCDが作成できます。
- CDのバックアップが可能です。
- HFS（Apple専用ファイルシステム）とHybrid（ISO9660とHFSフォーマットの混在フォーマット）での書き込みが可能です。

※ Hybrid形式で作成したCDは、MacintoshとWindowsの両方で読み出せます。

注意・メモ

メモ

- パケットライト方式の書き込みに対応しています。
- CD-RWメディアを使用している場合は、削除によって空き容量が増えますが、CD-Rメディアの場合は増えません（削除情報が書き込まれます）。

注意

100MBを超える大容量のファイルを書き込むときはWinCDRまたはWinCDR Liteを使用してください。

メモ

ディスクアットワンス、セッションアットワンス、トラックアットワンス方式の書き込みに対応しています。

注意

Macintoshのスリープ機能は必ず無効にしておいてください。有効になっていると、書き込みに失敗することがあります。

←前のページへ 次のページへ→

☆書き込み方式

メディアの使用目的に応じて書き込み方式を選択してください。ライティングソフトによって対応している書き込み方式は異なります。【ライティングソフトウェアのヘルプ参照】

●ディスクアットワンス方式

- リードインからリードアウトまでを1回で書き込む。
- 1枚のCD-RWメディア、もしくはCD-Rメディアに対して1回だけ書き込みができる（容量が残っていても追記できない）。
- CD-ROMをプレスする際のマスターディスクとして使用できる。

●トラックアットワンス方式

- ディスク容量に空きがある限り、何度でも追記が可能。
- CD-ROMの標準フォーマット「ISO9660」と互換性があるため、一般的なCD-ROMドライブで読み出せる。

●セッションアットワンス方式

- CD-ROMをプレスする際のマスターディスクとして使用できる。
- CD-ROMの標準フォーマット「ISO9660」と互換性があるため、一般的なCD-ROMドライブで読み出せる。

●パケットライト方式

- パケット単位で書き込むため、事前に書き込むファイルを指定する必要がなく、ハードディスクなどのようにファイル単位で書き込み可能。
- パケットライトに対応していないCD-ROMドライブでは読み出せない。

注意・メモ

メモ

- 2トラック以降にデータを含むCDは、トラックアットワンス方式でのバックアップはできません。ディスクアットワンス方式でバックアップしてください（WinCDR、MacCDR）。
- 1回書き込むごとにリードアウトとリードインが書き込まれるため、約13～23MBが余分に消費されます。

←前のページへ 次のページへ→

☆CD-RWの制限事項

- CD-RWでは、データの書き換えが複数回可能です。書き換え可能回数はCD-RWメディアによって異なります。古い使用済みのメディアで書き込みができなくなったときは、新しいCD-RWメディアをお使いください。

- CD-RWメディアに8倍速以上の速度で書き込みをする場合、HighSpeedに対応したCD-RWメディアを使用してください。

- CD-RWメディアに16倍速以上の速度で書き込みをする場合、UltraSpeedに対応したCD-RWメディアを使用してください。

- CD-ROMに比べて反射率が低いため、CD-RWに対応したドライブでないと読み出せません。
  CD-RWに対応していないCD-ROMドライブや音楽CD用プレーヤーでは、データを読み出せません。

- データを消去したいときは、1枚のCD-RWメディア全体を初期化します。セッション単位、ファイル単位、フォルダ単位では消去できません。初期化はライティングソフトウェアで行います。

注意・メモ

メモ

16倍速以上の速度でCD-RWメディアに書き込むには、ドライブ側も対応している必要があります。

メモ

使用しているCD-ROMドライブがCD-RWに対応しているかどうかは、パソコン本体のメーカまたはCD-ROMドライブのメーカにお問い合わせください。

←前のページへ 次のページへ→

免責事項

■本書の著作権は弊社に帰属します。本書の一部または全部を弊社に無断で転載、複製、改変などを行うことは禁じられています。

■本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。本書では™、®、©などのマークは記載していません。

■本書に記載された仕様、デザイン、その他の内容については、改良のため予告なしに変更することがあり、現に購入された製品とは一部異なることがあります。

■本書の内容に関しては万全を期して作成していますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどがありましたら、お買い求めになった販売店または弊社インフォメーションセンターまでご連絡ください。

■本製品は一般的なオフィスや家庭のOA機器としてお使いください。万一、一般OA機器以外として使用されたことにより損害が発生した場合、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

・医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使用しないでください。

・一般OA機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用するときはご使用になるシステムの 安全設計や故障に対する適切な処置を万全におこなってください。

■本製品は、日本国内でのみ使用されることを前提に設計、製造されています。日本国外では使用しないでください。また、弊社は、本製品に関して日本国外での保守または技術サポートを行っておりません。

■本製品のうち、外国為替および外国貿易管理法の規定により戦略物資等(または役務)に該当するものについては、日本国外への輸出に際して、日本国政府の輸出許可(または役務取引許可)が必要です。

■本製品の使用に際しては、本書に記載した使用方法に沿ってご使用ください。特に、注意事項として記載された取扱方法に違反する使用はお止めください。

■弊社は、製品の故障に関して一定の条件下で修理を保証しますが、記載されたデータが消失・破損した場合については、保証しておりません。本製品がハードディスク等の記憶装置の場合または記憶装置に接続して使用するものである場合は、本書に記載された注意事項を遵守してください。また、必要なデータはバックアップを作成してください。お客様が、本書の注意事項に違反し、またはバックアップ作成を怠ったために、データを消失・破棄に伴う損害が発生した場合であっても、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■本製品に起因する債務不履行または不法行為に基づく損害賠償責任は、弊社に故意または重大な過失があった場合を除き、本製品の購入代金と同額を上限と致します。

■本製品に隠れた瑕疵があった場合、無償にて当該瑕疵を修補し、または瑕疵のない同一製品または同等品に交換致しますが、当該瑕疵に基づく損害賠償の責に任じません。

■本書では、Microsoft社 Windows Millennium EditionをWindowsMeと表記しています。

■本書では、Microsoft社 Windows98 Second EditionをWindows98SEと表記しています。

←前のページへ 次のページへ→

保証書について

本製品には保証書が添付されています。この保証書は、本製品の修理についての条件を定めた約款が記載されております。お客様が無償修理を要求する場合に必要となりますので、大切に保管してください。

ユーザー登録について

弊社ホームページ(https://online.melcoinc.co.jp/user_t/index.html)にて、ユーザー登録できます。

※ユーザー登録時、製品シリアルNo.の入力が必要となります。製品シリアルNo.は、製品本体にシールで貼り付けられていますので、パソコンに取り付ける前にご確認ください。

※ユーザー登録された方には、弊社製品に関する情報をお届けします。

※ユーザー登録後に製品を譲渡した場合、ユーザー登録は変更できません。

※本製品に対するサポートやバージョンアップなどのサービスは、ユーザー登録されている方でなければ受けられません。

修理について

製品をお送りいただく前に、マニュアルを参照して設定や接続が正しいかを再度ご確認ください。正しく接続や設定をしても症状が改善されない場合は、修理票と保証書の原本に必要事項をご記入の上、製品と一緒にお送りください。修理票は、弊社ホームページにてダウンロード可能です。修理票の添付が困難な場合は、以下の事項をお調べになった資料と保証書の原本を添付して製品をお送りください。

①**返送先** ［氏名/住所/電話番号(内線)/FAX番号］
②**平日昼間の連絡先** ［氏名/住所/電話番号(内線)/FAX番号］
③**修理対象のメルコ製品名**
④**弊社製品ハードウェア シリアルナンバー**
⑤**弊社製品ソフトウェア シリアルナンバー**
⑥**具体的な症状/エラーメッセージ**
⑦**発生状況** ［始めから/ある日突然/環境を変えたら］
⑧**発生頻度** ［必ず/頻繁/時々/時間が経つと、他］
⑨**コンピュータ** ［本体メーカ名/型番/シリアルナンバー］
⑩**ハードディスク** ［メーカ名/型番/シリアルナンバー］
⑪**ディスプレイ** ［メーカ名/型番/シリアルナンバー］
⑫**その他周辺機器** ［メーカ名/型番/シリアルナンバー］
⑬**OS(オペレーティング・システム)** ［ソフト名/メーカ名/バージョン］

製品送付先　〒457-8520　名古屋市南区柴田本通4-15
株式会社メルコ　修理センター宛
電話番号　052-619-1289

※ご依頼いただいた修理品以外に関するお問い合わせは承っておりません。製品に関するお問い合わせはインフォメーションセンターへお願いします。
※宅配便など、送付の控えが残る方法でお送りください。郵送は固くお断りいたします。
※送料は送り主様のご負担とさせていただきます。なお、輸送中の事故に関しては、弊社はいかなる責任も負いかねますので、輸送会社に別途保証をしていただくなどの措置を取ってください。
※修理にお送りいただく際に、弊社への事前連絡は不要です。
※ハードディスクなどの記憶装置をお送りいただいた場合、その記憶装置はフォーマット致します。また、記憶装置を修理する場合は、データが記憶されているディスク部分を交換することがございます。お送りいただく際、必要なデータは必ず事前にバックアップを作成しておいてください。
※修理期間は、製品の到着後7日程度（弊社営業日数）を予定しております。

CD-RWドライブ　ユーザーズマニュアル
2002年8月7日 第2版発行
発行　株式会社メルコ
PY00-27223-DM10-02 2-01

←前のページへ